

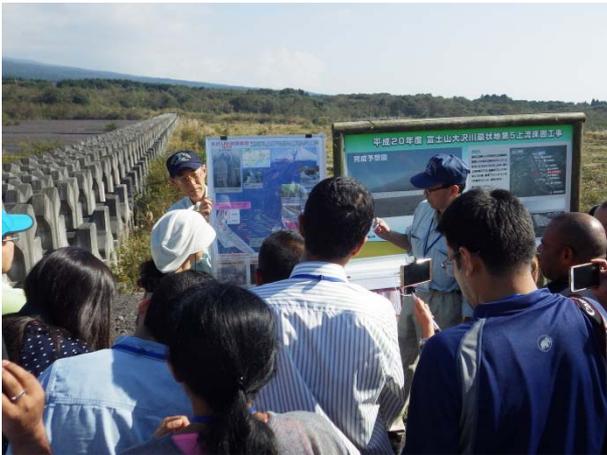
## JICA 海外研修員が『大沢扇状地』を視察 ～ 世界14 カ国から対策事例を見学！ ～

10月20日(木)に海外研修員14カ国20名が、国土交通省富士砂防事務所が実施している「大沢扇状地」を視察しました。

富士山もきれいに見え、床固工や岩樋観測所を視察しました。

参加者からは、岩樋観測所下流部と第5上流床固工の川幅の差の違いと流れてくる岩の大きさ、大沢崩れの対策でヘリコプターを使用した無人化施工を実施していることを聞き、驚きの声があがった。

- ◆日 時 : 平成28年10月20日(木) 13:30～15:00
- ◆場 所 : 大沢扇状地(富士宮市上井出)
- ◆参 加 者 : フィリピン、スリランカ、ネパール、ミャンマー、パキスタン、モーリシャス、パプアニューギニア、エルサルバドル、エクアドル、ペルー、ブラジル、アルメニア、アゼルバイジャン、トルコ 14カ国20名



第5上流床固工での説明状況



第5上流床固工での視察状況



岩樋観測所の視察状況



岩樋観測所での視察状況

※本研修は、10月2日(来日)～12月10日(離日)の期間(2.3ヵ月間)に独立行政法人国際協力機構(JICA)主催で行われる「土砂災害防止マネージメント(豪雨、地震、火山噴火起因)」研修で、豪雨、地震、火山噴火による土砂災害に対する日本の防災・減災に関する様々なノウハウを、開発途上国における土砂災害の防災・減災に携わる人材育成に活用し、開発途上国における被害の軽減に貢献するため、平成26年度に開設されています。